事例No.	2829
公表年度	R5
団体の属性	複数団体
団体名	岡山県高梁市、北海道鶴居村、島根県松江市、兵庫県、岐阜県各務原市、岡山県新見市、秋田県

事例区分	地域活性化

タグ	・関係人口 ・公共施設活用 ・観光

事例種類	地域資源の活用

事例内容・タイトル

ローカル10000プロジェクトの活用事例①

出典

地域力創造推進に関する研究会（第5回）

ローカル10,000プロジェクトの活用事例①

（1）遊休施設（古民家等の空き家、空き公用施設、廃校等）の有効活用

採択団体・年度	事業内容	公費交付額	融資額
岡山県高梁市 （令和3年度）	古民家を改修し一棟貸しの宿泊施設として運営するとともに、『お試し移住』『お試しサテライト』『ワーケーション』施設としての活用も可能とすることにより、高梁市を移住先候補地としてPR。施設内ではベンガラ染め体験もできる。	25,000千円	25,000千円
北海道鶴居村 （令和3年度）	日本初、廃校となった小学校の体育館を活用したクラフトビールブルワリー。物販や見学スペースも設け、観光客やビール醸造を学びたい人々を受け入れ、交流できる場所とするとともに、地域資源を生かしたクラフトビールを新たな特産品・観光資源として活用。	35,000千円	55,000千円

（2）観光拠点・宿泊施設の整備

採択団体・年度	事業内容	公費交付額	融資額
島根県松江市 （平成30年度）	3軒の古民家を、インバウンドや企業・大学の合宿にも対応できる宿泊施設にリノベーションしたほか、既存の宿泊施設に半露天風呂、食事会場である国登録文化財にバーを新設。これらを地元住民の交流の場としても活用。	19,000千円 （10/10事業）	19,000千円
兵庫県 （令和3年度）	築100年の古民家を改修し、①移住・起業目的の方に安価で長期滞在ができるweeklystay施設 ②丹波焼や丹波布を初めとした地域資源を活用する新規事業者向け工芸品等販売所 ③不動産情報や就労情報の提供をするカフェを整備。	10,000千円	10,000千円

（3）地元農林水産物を活用した6次産業化、新商品開発の促進

採択団体・年度	事業内容	公費交付額	融資額
岐阜県各務原市 （平成28年度）	市の特産物「にんじん」の農家数が年々減少しており、傷物品や規格外品などの大量廃棄への対応も必要であることから、地元の大学生と共同で和菓子スイーツを開発し、スイーツの販売拠点として新店舗を整備。	25,000千円 （10/10事業）	25,000千円
岡山県新見市 （令和元年度）	廃校施設をリノベーションし、IT技術を活用した温度・湿度・水分管理により通年栽培可能なきくらげ栽培室を整備。黒きくらげのほか、希少性の高い白きくらげを生産。	24,000千円	24,000千円
秋田県 （平成30～令和3年度）	①酒造業の醗酵技術を活かした「粉末商品」の開発、②納豆商品のフリーズドライ加工による即席麺やシーズニング業態等の新業態の商品開発 など、地域の食を活用するための施設や機械の整備を複数の事業で実施	①25,000千円 ②35,000千円	①25,000千円 ②52,500千円